

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	山本 良一	電 話	483-1151 内線3561
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4096		事務事業名称	農業の郷整備事業					短縮コード	経常		臨時	4096
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		農業経営基盤強化促進法、都市再生特別措置法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成5年「農業経営基盤強化促進法」が改正施行され、経営規模の拡大や生産方式の合理化等経営の改善を図ろうとする農業者（経営体）に対する支援措置が強化された。本市においては、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定し、意欲ある農業者（経営体）の育成を目指している。そのような中で、農業を中心とした地場産業の振興及び都市と農村の交流の場づくりを目的とし、事業を開始した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
国は、担い手への集中的・重点的な施策を展開し、農業の構造改革に取り組んでいる。今後は、国の施策に対応できる農業者（経営体）の育成支援が必要である。					大項目（節）	01	農業						
					中 項 目	01	農業						
					小項目（施策）	06	市民とふれあう農業の推進						
					細 項 目	02	市民と農家との交流						
実施計画の計画事業	5102	やちよふれあいの農業の郷整備事業											
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成27年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	住民（農家，都市住民），観光者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 市道島田台・平戸線用地取得、物件移転補償、分筆及び所有権移転登記							
	※平成22年度に計画していること： ふれあいの農業の郷用地取得（千葉県地方土地開発公社）、市道島田台・平戸線道路改良工事、ふれあいの農業の郷実施設計							
意図 （何を狙っているのか）	農家や農業地域にとって、農業や農村空間を利用した都市住民との交流、農産物や農産加工品の販路の開拓・確保、農産加工・販売など農業経営の安定、地場産業の情報発信が目的となり、都市住民にとって、体験型観光、ゆとりある休暇、新鮮でおいしい農産物が目的となる。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	住民数	人	191, 469	194, 000	192, 570	194, 000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	施設整備計画面積	m ²	13, 431	13, 431	13, 431	13, 431	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	施設整備完了面積	m ²	0	0	0	0	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4096	事務事業名称	農業の郷整備事業			所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			基本設計を基に、農業の振興及び都市と農村の交流の場づくりを目的とした施設整備を、今後の実施設計により事業を推進する。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			実施設計において、施設整備の精査を行い最小の経費で最大限の効果を上げるよう努める。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市民や議会から計画の中に含まれている本計画地である島田側と既存のふるさとステーションを結ぶ橋が不要ではないかとの意見と、地元住民等からは橋の新設の要望が有る。	

所属長コメント	・都市と農村の交流の場づくりを整備することにより、今後の八千代市の農業の活性化を図るため、事業を推進していく。 ・農業の郷整備事業は、国からの交付金を受け、平成２２年度から平成２６年度の５年間の事業期間で整備を行う。 ・財政的負担軽減のため、引き続き財源確保について調査していく。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		